



## 古河市公明党

(質問者：高橋 秀彰 議員)

## 健康福祉について

**問** さまざまな問題を抱える家庭への包括的な福祉サービスの提供には、幅広い相談に対応できる人材の育成や確保とともに、縦割りを超えた体制の構築が不可欠である。今後の安心社会実現への取り組みについて伺う。

**答 (市長)** 社会福祉士などの資格をもつ職員を相談支援包括化推進員として配置し、関係各課

や古河市社会福祉協議会等をメンバーとした会議を行い、支援が総合的に提供されるようコーディネートしていく。



## 生活環境について

**問** 空き家対策では、所有者に対し、適正管理を強く促すとともに、危険な空き家の認定等も含め、対策の強化が必要である。本市の空き家対策について伺う。

**答 (市長)** 4月から空き家撤去費用の2分の1、限度額を50万円として助成する市独自の制度を開始し、対象は老朽化等によ

り管理不全状態の空き家で、立ち入り調査を行い認定している。

## 都市基盤について

**問** 優良企業の誘致を図る上で、仁連工業団地の立地ポテンシャルは、企業にとって大きな魅力である。今後も市長のトップセールスを含めた積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。

**答 (市長)** 引き続きトップセールスを行い、立地条件の良さをPRしながら優良企業の誘致をさらに積極的に進めていきたい。

## 《その他の質問》

- ・ 市政運営の基本方針について
- ・ 教育文化について
- ・ 行財政について



## 真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

## 施政方針について

**問** 「華のある都市(まち)古河」とは、うわべだけの華ではなく実体が伴わないと、本当の華にはならない。県内隣接市町はもちろん、小山市、久喜市、加須市等を古河市が、古河の商圈として見ていき、古河市に人を呼び寄せるため、商業、子育て支援、防災、文化交流などを推進するための方策として、①都市(まち)に活力を持たせる

には、どんな具体的方策があるのか。②市民に安心、安全を与えるための、具体的方策があるのか。③魅力あるまちづくりをするために、具体的に何をするのか、以上3点について伺う。

**答 (市長)** ①新市建設計画の中に先導的プロジェクトとして、(仮)南古河駅をつくるという具体的な方策がある。駅をつくるのが目的ではなく、古河市民になっていただける方を増やすことが目的であると考えている。南古河駅の周辺地域、そして、古河市全体がさらに活力あるまちづくりを推進していくために、引き続き近隣自治体を参考に手法の検証、検討をしていきたい。②市民に安心、安全を与えるために、茨城西南地方

広域市町村圏事務組合消防本部において、適正配置計画を作成する予定になっている。広域での地域性を考慮した観点から、計画を策定していきたい。③魅力あるまちづくりをするために人材の活用、人材バンクの創設というご提案があったが、古河市においては優秀な人材の方が、市内外にもたくさんいる。そういった方が集まる機会や場所をつくり、古河のまちづくりに役立てていきたい。

